

2026年02月号

かわら版

Vol.23

なりかわ

成川まさゆき
市政報告〒938-0014 黒部市植木 107-7
TEL & FAX (0765) 157-1189
携帯 090-1317-7155
Mail/masa.narikawa@gmail.com

黒部を未来へつなぐ

黒部宇奈月温泉駅

第16代 黒部市議会議長を任期満了により退任いたしました。

～この1年の貴重な経験を糧に、一議員として「黒部の未来」を切り拓く～

① トップ記事：議長退任のご挨拶

昨年12月より第16代黒部市議会議長を拝命し、この1年間、議会運営の公正円滑な推進と、市議会の品位保持に努めてまいりました。去る12月3日の令和7年12月定例会初日をもって、慣例により辞任願を提出し、議長職を退任いたしました。在任中は、市民の皆様をはじめ、議員各位、当局の多大なるご支援を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。議長としての公務を通じ、姉妹都市である韓国・三陟（サムチョク）市や中国・大連市への訪問、また各種式典への出席など、黒部市を代表しての交流や発信に力を注いでまいりました。今後は一議員として、この1年で得た広い視野と経験を活かし、今回の代表質問でも取り上げた「黒部型福祉」の実現や、地域活性化に向け、より一層汗をかいてまいる所存です。変わらぬご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



「黒部を未来へつなぐ」

黒部市議会議員 成川まさゆき

② 議会質問（令和7年12月定例会）

【メイン特集】市民危機と資産防衛：黒部型福祉への決断

<現状と課題>

生活に困窮した方が、市内に受け入れ可能な住宅がないために富山市などへ転出せざるを得ない事例が発生しています。これは①経済的損失、②公有資産の劣化、③地域活力の低下を招く「三重の損失」です。

【問】行政の縦割り構造が招いたこの「市民流出」を断固阻止すべきだ。今ある公営住宅の空室を「居住サポート住宅（見守り付き住宅）」として活用し、福祉と住宅政策を融合させた「黒部型居住支援モデル」を即時導入すべきではないか！

【答】・市長：組織の垣根を越え、関係機関と連携して当事者に寄り添った支援体制を整える。

・市民福祉部長：公営住宅の余剰戸数については、「居住サポート住宅」等として活用することが可能と考える。見守り等のサポートにおける 指定管理化等も併せて検討したい。

<成川の視点>

市の財産である「空いている公営住宅」を有効活用し、誰もが安心して住める場所を作る。一石二鳥の改革に向けて、実現まで徹底して取り組みます！

■行財政改革への覚悟

【問】財政の硬直化と職員不足を解消するため、「余剰創出」を最重要目標とし、既存事業のスクラップや、失敗した事業から撤退する「やめる勇気」を持つべき。

【答】職員の「余剰創出」を改革の柱に据え、DX活用や業務調整で多忙化を解消する。「あれもこれも」から「あれかこれか」へ転換し、新規事業は既存事業の整理とセットで検討。成果なき事業は中止する勇気を持って臨む。

■地域経済・財政基盤の強化

【問】物価高騰に苦しむ市民を守る「賃上げ支援」の強化や、市の「稼ぐ力（ふるさと納税・公有財産活用）」を抜本的に強化すべき。

【答】国・県の動向を注視しつつ、時機を逸することなく必要な対策を講じていく。

■富山地方鉄道の存廃問題

【問】地鉄は市民生活の「命綱」か、観光の「玄関口」か。公金を投入する以上、その優先順位と判断基準を明確にし、市民への説明責任を果たすべき。

【答】鉄道の役割を再評価し、市民の納得が得られるよう丁寧に説明していく。

■子どもの権利と安全

【問】「子どもの権利条例」の制定や、私が以前から提案している「CAP（子どもへの暴力防止）プログラム」の導入を行い、子どもの安全を行政の責務として守り抜くべき。

【答】条例制定に向けて前向きに検討を進める。CAPについても教育現場での活用を研究する。





③ 視察・活動レポート (Photo Topics)

TOPIC 1

韓国・三陟（サムチョク）市 公式訪問

【日程】2025年10月11日～15日

【内容】

姉妹都市・三陟市の「市民の日」式典に出席。金良鎬（キム・ヤンホ）市長らと会談し、両市の絆と交流の継続を確認しました。

【写真】三陟市での記念撮影写真



TOPIC 2

中国・大連市 友好訪問

【日程】2025年10月22日～25日

【内容】

経済成長著しい大連市を訪問。黒部市の産業振興やインバウンド誘致の可能性について、国際的な視点で意見交換を行いました。

【写真】大連市での視察風景



TOPIC 3

北方領土返還要求運動（東京）

【日程】2025年11月30日～12月1日

【内容】

根室市との共同アピール活動に参加。銀座での行進などを通じ、北方領土問題の早期解決を首都圏で強く訴えました。

<写真> 銀座でのアピール行進の様子



TOPIC 4

北前船寄港地フォーラム in 松本

【日程】2025年11月21日

【内容】

長野県松本市で開催されたフォーラムに参加。広域観光連携や歴史遺産の活用について研鑽を積みました。

【写真】フォーラム会場での様子



黒部を未来へつなぐ～「寛容」と「挑戦」が、新しい街の力になる～

「優しいことは、強いこと」

私の政治活動の原点は、「人にやさしいまち」づくりです。しかし、私の考える「やさしさ」とは、行政がすべてをお膳立てすることではありません。真のやさしさとは、失敗を恐れずに挑む人を支え、何度でも再起できる強さを持つことです。

1. 「寛容」が、挑戦のエンジンになる



新しいことを始めれば、失敗することもあります。そのとき、責めるのではなく「ドンマイ、次があるよ」と地域全体で受け入れる。この「心のバリアフリー（心理的安全性）」があるからこそ、人は安心して一歩を踏み出せます。「誰かの挑戦を、みんなで面白がる」。そんな懐の深い黒部を創ります。

2. 「お客様」から「プレーヤー」へ



行政のサービスをただ待つのではなく、市民一人ひとりが街の主役（プレーヤー）になる。「支えられる安心」はもちろん大切ですが、自分の経験や特技で「誰かを支える喜び」や「役割がある誇り」を持つこと。それこそが、地域で生きていく上での本当の尊厳になると私は信じています。

3. 行政は、最高の舞台を整える「黒子（くろこ）」



行政は「黒子」に徹する（後押し・仕組みづくり）
(Government acts as invisible support (Backing & Mechanism Building))

行政の役割は、主役である皆さんが輝けるための「舞台づくり」です。

- チャレンジを阻まない「仕組みづくり」
- 何度でもやり直せる「セーフティネット」行政が全力で「黒子」に徹し、市民の皆さんの熱意を後押しする。それが、私の目指す自立し助け合う黒部のスタイルです。

【結びに】

今の黒部に必要なのは、箱物（ハード）だけではなく、人の心と行動をつなぐ政策です。今ある豊かな資源を大切にしながら、誰もが主役になれる「寛容と挑戦のまち・黒部」を、皆さんと共に創り上げていきたい。黒部を未来へつなぐ。そのために、今年も現場第一で走り抜けます！

Masayuki's
Profile
プロフィール

<黒部を未来へつなぐ>
・黒部市議会議員 成川まさゆき（3期目・12年目）
・第16代黒部市議会議長
・自民志創会 所属

<主な役職>
自民党黒部市連合支部 幹事長
新川アイドルプロジェクト実行委員長
防災士
大布施盆踊り唄研究会（歌い手）
富山県動物愛護推進員

成川まさゆきの情報発信

「なりかわチャンネル」好評配信中!!

YouTube

黒部の魅力を発信中
議会報告や黒部の話題を音声で発信中。
スマホからも無料で聴けます。

私の声を聴いてください

日々の活動記録を配信しています。

皆様のご意見をお気軽に是非、お寄せください!

KUROBE

【成川まさゆき後援会事務所】

〒938-0014 黒部市植木 107-7 TEL.090-1317-7155 Mail:masa.narikawa@gmail.com

